

《音楽物語》

葉っぱのフレネー ~いのちの旅

アメリカの教育学者レオ・バクラー(1924~1998)による絵本。如児教育を実践していた「バクラー」が、不治の病におかされていた子どもと、『死』の意味を伝えようとして書かれた。春に生まれた一枚の葉が、多くのことを学びながら夏と秋を生き、冬の始めに幹を離れるまでの「一生」の物語。翻訳された絵本は1998年日本でも出版されてベストセラーとなり、その後、森繁久彌の朗読(音楽:東儀秀樹&井

上鑑)によってCDとなった。長男を亡くして失意のなかにあった森繁久彌氏が、この本に出会ったことで「もう一度生きてみよう...」と想った10万枚を超えるベストセラーとなり、日本レコード大賞企画賞受賞。井上鑑による付随音楽のピアノ版もCDと楽譜になって発売された。一昨年アマミユセ柏で行われた舞台上演は大好評を博し、今回はその再演となる。

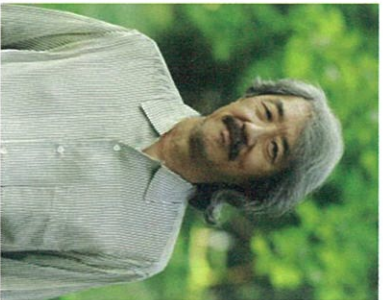
宇崎竜童 (うさぎ りゅうどう 音楽家)

東京都出身。1973年にタワウソウ・タワウソウ・タワウソウを結成しデビュー。「港のヨコヨコ」「バコカ」「バコカ」「バコカ」など数々のヒット曲を生み出す。作曲家としても多数のアーティストへ楽曲を提供。阿木耀子とのコンビで、山口百恵へ「横須賀ストーリー」「レニレニ」など多くの楽曲を提供。山口百恵の黄金時代を築いた。1976年「内蔵やす子の想い出」は「ぼるぼる」で日本レコード大賞作曲賞受賞。映画音楽では『駅-STATION』(東宝1981年)、「社葬」(東映1989年)などで日本アカデミー賞優秀音楽賞受賞。舞台音楽では『ロック曾根崎心中』、『天保十二年のシェイクスピア』(2006年)で読売演劇大賞優秀スタッフ賞を受賞。阿木と共に力を注いでいる『Ay曾根崎心中』では音楽監督を務めている。役者としては映画『駅STATION』(日本アカデミー賞助演男優賞)、『ATTOO<刺青>あり』、『バーナムネット野ばら』、『レビトクスター-X-外科医:大門未知子』など出演多数。最新作として映画『罪の声』に出演。ライブ活動、俳優等で幅広く活動中。2019年阿木耀子と共に岩谷時子賞特別賞受賞。
<http://www.yuudo.jp/>



井上鑑 (いのうえ あきら 作詞・作曲・編曲家・キーボード奏者)

日本音楽界の先駆的アーティスト。井上頼豊の長男として東京に生まれる。桐朋学園大学作曲科で三善晃氏に師事。在学中より、作曲家・キーボード奏者として活動を始める。80年「スーパーバンド」「バクシュー」に参加。3枚のアルバムを発表。81年「Single」GRAVITATIONS』でソロアーティストデビュー。同年、寺尾聰『ルビーの指環』で日本レコード大賞編曲賞を受賞。アレンジャーの新しいあり方を提示する存在となる。大瀧詠一・福山雅治・佐野元春・吉田兄弟・本田美奈子等多数のプロジェクト、ヒット作品に参加。ロンドンとの2拠点化を進め、イギリスのミュージシャン、エンジニアとの共作を重ねている。ユニット「井上大今」、『DSD trio』などでも作品発表やライブを継続し、11年夏、初の書き下ろし文化論『僕、僕、僕』を筑摩書房より出版。CM音楽の話題作も多数。TVドラマのサウンドトラックも手がけている。ソロリサイタルシリーズ「僕、僕、僕」の音、「独創會」、等クリエイティブな表現活動も多彩。不朽の名曲「鳥の歌」をテーマにした「運歌・鳥の歌」プロジェクト主宰。16年にはスペイン(VIセロナ)、ウクライナ(キエフ)でのツアーを成功させた。17年秋、通算14枚目のアルバム『OSTINATO』(Tchad Blakeミックス)と、作・編曲集『Seeing』、『Believing』(各2枚組・全64曲収録)を同時発売。今年、1984年発表のカセットブック「カルサヴァーナ」をCDでリイシュー。アルバム収録曲を振り返る「Karasvina TV - PRIVATE SESSION」を配信している。
<http://www.akira-house.com/>



徳川眞弓 (とくがわ まゆみ ピアノ)

東京芸術大学音楽学部付属音楽高等学校を経て同大学器楽科ピアノ専攻卒業。在学中に大野和士氏指揮によりグリーグのピアノ協奏曲を演奏。ロータリー財団奨学生として米国インディアナ大学大学院に留学。修了後は同大学院指揮科ピアノとして3年間勤務。その間学内オーケストラとロシアのピアノ協奏曲第2番を演奏する他、アスペン音楽祭(コロラド州)、20世紀の室内楽シリーズ(スペイン)に参加。スペイン各地、カナダなどで演奏。帰国後はロリサイタルをはじめ室内楽・伴奏など様々なコンサート活動を展開する一方、2003年から「マシバ」シリーズ「サロニウム」(海兵幕張)、毎月「シテイ・ミニコンサート」@松戸市役所「歌のおもちゃ箱」(松戸)をプロデュースしている。東日本大震災以降、3度の自主リサイタルはC.W.ニコル氏の進める「震災復興プロジェクト」にも参加し、全生徒へのコンサートでは「葉っぱのフレネー」を演奏して、かけがえのない時間を持った。テニスクラブシカホCD「ポートレイト」(子象バレーの物語)をリリース。「バレー」は「コート芸術」誌の特選盤に選ばれた。日仏サロン文化協会よりサロン文化芸術賞受賞。PTNA 会員。Trio MVPメンバー。MOMOピアノ教室主宰。ホームページ <http://park8.wakwak.com/~toktok/>



2022年 **9月19日** (月・祝)

守谷市中央公民館 ホール

開場 13:00 開演 14:00 守谷市百合ヶ丘2-25-40-1

入場料: 一般前売 3,000円 / 当日 3,500円

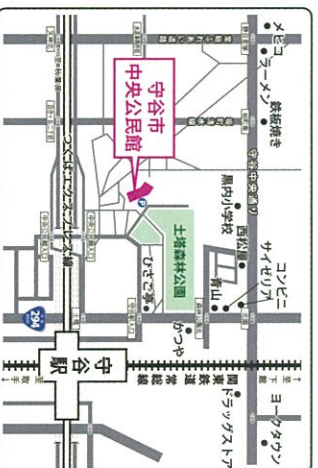
高校生以下前売 1,000円 / 当日 1,500円

親子ペア 前売 3,500円 / 当日 4,500円

(全席指定)

申込方法 8月4日(木)9:30~中央公民館窓口で申し込み

お問合せ 0297-48-6731 主催: 守谷市中央公民館



CD《葉っぱのフレネー ~いのちの旅》
宇崎竜童+井上鑑+徳川眞弓 DCJA-21046
葉っぱのフレネー
2,100円 [税込み]
好評発売中
(当日会場でも販売予定)<http://www.disc-classica.jp/lineup/freddie.html>
DISC 発売元
CLASSICA テニスクラブシカホ